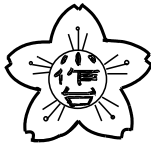


よく考える子
思いやりのある子
げんきな子



学校通信 小作台

第 5 号
令和 7年 7月 18日
羽村市立小作台小学校

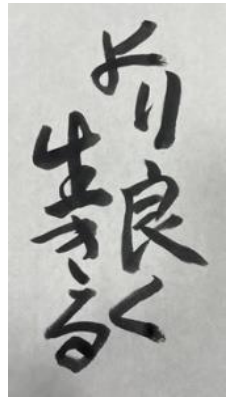
「夏の扉の向こうへ」

1学期も本日で終わりです。3か月と少し前、入学・進級という節目の時を経て、子供たちは新たな環境の中で学校生活のスタートを切りました。自分の目標を設定し、それに挑戦し、成長を重ねてきた1学期。数多くの活動に取り組む中で、仲間との絆を深めることもできたのではないのでしょうか。

日々の学びの中で「できた・わかった」という喜びがさらなる学びへとつながり、その経験の中で少しずつ自信も獲得してきたのだと思います。

保護者の皆様におかれましては、小作台小学校の教育活動にご理解と温かなご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。

さて、明日から夏休みが始まります。子どもたちにとって、とても重要な成長の機会となる時間です。ぜひ以下の3つのことに意識した生活を送り、充実した夏休みを創ってほしいと願っています。



1 家族の一員として、充実した夏休みを過ごす

夏休みは家族とゆっくり過ごす貴重な時間でもあります。普段の忙しい日々ではなかなかできない、家族との会話や一緒に時間を大切にしてほしいと思います。お手伝いや家族の一員としての役割を通して、責任感や思いやりの心も育まれていくことでしょう。

私事になりますが、小学4年生から6年生まで、自分の両親との約束で、夏休み中は毎日玄関掃除を行っていました。それほど汚れていない時は、靴を整理するくらいの日もありましたが、今年、卒寿を迎える母親の「今日もありがとう」の言葉は今でもはっきりと覚えています。

2 夏休みならではの経験をする

自然の中で遊ぶことや、地域の行事に参加すること、本をじっくり読むことなど、学校生活では味わえない体験をたくさん行うことができます。自分の好きなことや、新しいことに挑戦し、自分の世界を広げてほしいと願っています。「親子で料理を作る」等の取組も楽しそうですね。特別なことをしなくても、目の前にあるものの角度を変えてみたり、深く追及したりすることが子供たちにとって立派な学びや発見につながります。この夏、取り組み始めたことが、生涯を通じた趣味になったり、人生のどこかで役に立ったりすることがあるかもしれません。いろいろなことにチャレンジする夏休みにしてほしいと思います。

3 2学期に向けて、新たな希望をふくらませる

休み中であっても、学期中と同じくらいの時間に『寝る』『起きる』という生活を心がけ、心と体を整えてください。そして、1学期を振り返り、「できたこと」や「もっと頑張りたいこと」を整理することで、2学期の新たな目標が見えてきます。自分なりの目標をもって2学期を迎えられるように準備しておけば、スタートがスムーズになります。

ご家庭において、安全で健康的な夏休みが過ごせるよう、声掛けをお願いします。子供たちが一回り成長して2学期を迎えられることを、心から楽しみにしています。

～ 小 作 台 小 学 校 の 様 子 ～

スーパーマーケットの見学（3年生）・・・6月17日（火）

初めての社会科見学で「スーパーオザム小作店」へ出かけました。子供たちは、普段入ることができないバックヤードを見学し、総菜を作る様子、肉や魚をパックに詰める様子を見せてもらいました。また、「お客さんにたくさんの品物を買ってもらうための工夫」を探しながら店内を歩きました。子供たちは、「品物の種類ごとに棚の色が違う。」「入口に季節の果物が売っていた。」といったポイントを見付けていました。何度も来たことのあるスーパーマーケットですが、改めて様々な工夫がされていることを学びました。

社会科見学（6年生）・・・6月26日（木）

日本科学未来館では、地球の様子を映し出す「ジオ・コスモス」という大きな地球の模型が目を引きました。宇宙のことが分かる展示や実験や体験ができるコーナーがありました。「古いパーク」では、老化によって私たちの生活はどのように変わるのかを体験していました。



国会議事堂では、地元選出の衆議院議員の方からお話を伺うことができました。衆議院の見学では、赤い絨毯や本会議場を見下ろせる傍聴席、大理石の壁に驚きながら、自分の目で歴史ある建物を確かめることができました。

地域安全マップフィールドワーク（4年生）・・・6月23日（月）・30日（月）



総合的な学習の時間で「地域安全マップ作り」に取り組みました。2日間のフィールドワークでは、地域の安全な場所、不審者や事件が起きやすい危険な場所を探索しました。1組は学区内の坂下方面、2組は駅周辺を担当し写真を撮ったり、しおりにメモをしたり、地図に印をつけたりしながら歩きました。子供たちは、普段何気なく歩いている学区について新たな視点で学ぶことができました。地域ボランティアや保護者ボランティアの方々のご協力に感謝いたします。

アート in はむら展（4年生）・・・7月3日（木）

プリモホール「ゆとろぎ」で開催された「アート in はむら展」では、地下から屋上まで館内展示場所を回って、たくさんの美術作品を鑑賞しました。初めに、クラスごとに一つの作品を鑑賞し「何が描かれているか。」「どんな感じがするか。」等を発表し合いました。途中から絵を描かれた作家の二宮ちとせさんから解説をしていただきました。その後、グループに1名のボランティアさんが付き、お気に入りの作品を見付けたり、説明を聞いたりしながら館内を歩きました。



給食ができるまで（1年生） 栄養の話（3年生）・・・7月3日（木）



給食センターの栄養士と調理員の方が来校し、1年生に映像を使いながら「給食ができるまで」を説明してくれました。調理をする動画の中で使っていた大きな「へら」を持たせてもらいました。「すごく重い」「混ぜるのが大変そう」と感想を言っていました。ホースで作った大きな「輪」で鍋の大きさを示してくれました。大きな鍋で給食を作っていることが改めて分かりました。

3年生は、給食に使われている食材や栄養バランスの大切さを教えてもらいました。給食には、羽村や瑞穂で収穫した野菜が使われていることも知りました。「給食は、たくさんの方が関わり作られている。」という話を伺い、子供たちは、感謝の気持ちを持ちました。

心肺蘇生法講習会（5・6年生）・・・7月10日（木）

本校体育館で心肺蘇生法研修を行いました。福生消防署羽村出張所の4名の方が指導に当たってくださいました。初めに、胸骨圧迫（心臓マッサージ）の仕方を教わりました。持ってきていただいた7体の練習用の人形を使い、実際に胸骨圧迫を体験しました。次に、AEDの使い方を教わりました。その際にはAEDを装着する人と胸骨圧迫をする人が協力して行う必要があることが分かりました。講習後、子供たち一人一人に「救命入門コース受講証」が配布されました。



着衣泳（5・6年生）・・・7月14日（月）



近くに多摩川がある本校は、水泳指導の最終日に、服を着たまま水に入る着衣泳（ちゃくいえい）を行っています。川や海、用水路などに誤って落ちてしまった場合、服が濡れて重くなりいつものように動くことができません。そのような時、慌てずに体の力を抜き、水に浮いて助けを待つ必要があります。子供たちは、真剣に教員の話聞き、ペットボトルを使ったり、服に空気を入れたりして浮く練習をしました。川や海へ行くときは、大人と行動し、約束を守り自分の命を守る行動をしてほしいと思います。

○夏季休業中の電話対応について

8時15分～16時45分、それ以外の時間は、自動応答機能付き電話対応となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。土日祝日・学校閉庁日（8月8日、12日、13日、14日、15日）は、全日自動応答機能付き電話対応となります。

児童の生命に関わるような重大な事件や事故が発生した場合は、羽村市教育委員会 学校教育課（042-555-1111）にご連絡をお願いします。

○1人1台端末の持ち帰りについて

羽村市教育委員会より配布された「1人1台端末の持ち帰りについて」を親子で確認し、使用時間やルールを決めて、学校支援ドリル（eライブラリ）や調べ学習にご活用ください。